

1 気象の概要

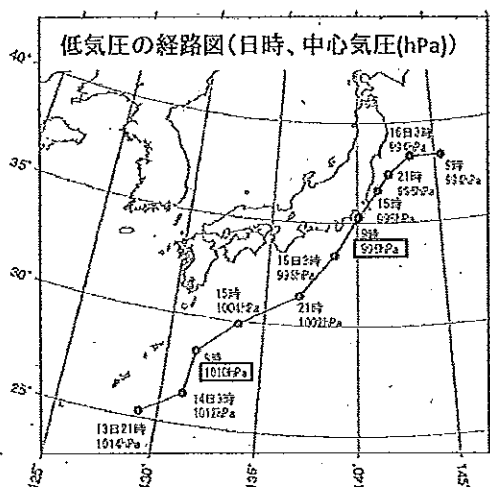
平成26年2月14日からの大雪災害について

気象概況

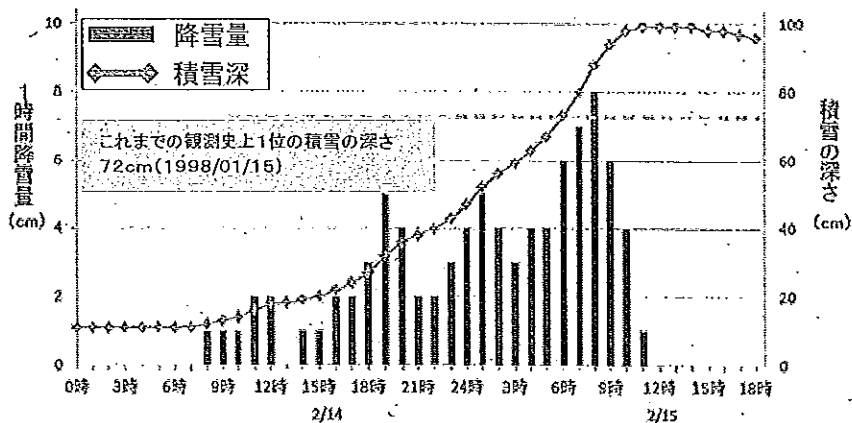
2月13日21時に南西諸島で発生した低気圧は、前線を伴って発達しながら、本州の南海上を北東に進み、15日明け方から昼頃にかけて関東地方沿岸に接近した後、関東の東を北東に進みました。低気圧の中心気圧は14日9時には1,010hPaであったが15日の9時には996hPaまで発達しました。

南岸低気圧と上空の寒気の影響により、14日夜から15日を中心に降雪が強まり、県内では記録的な大雪となり、軽井沢町(99cm)、飯田市(81cm)等で観測史上過去最大の積雪深を記録しました。

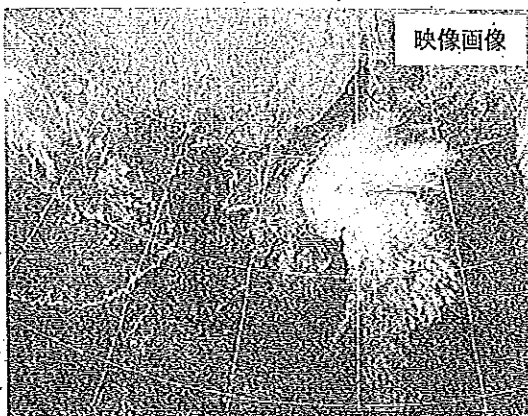
気象状況 (2月15日3時) ~ 気象台HPより



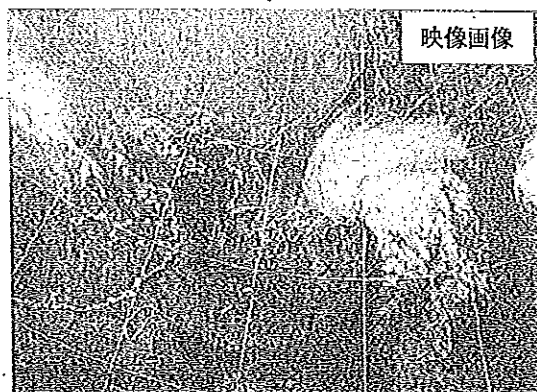
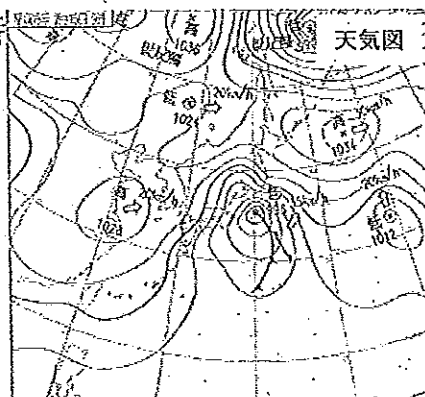
◎ 軽井沢の積雪と降雪



2月15日 3時



2月15日 9時

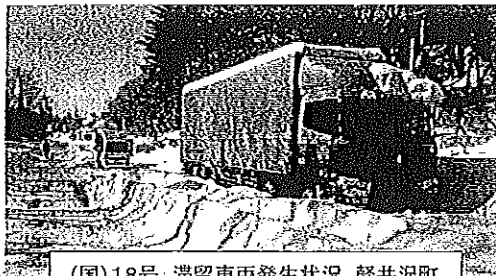
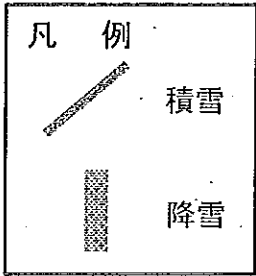


大雪の要因として、南岸低気圧が関東付近に沿うように北東に進んだこと。さらに日本の東にあった高気圧が低気圧の行く手を阻む「ブロッキング高気圧」となり、低気圧の動きを遅くしたため、長い時間降雪が続いた。

各地の降雪状況

※各観測点の積雪深、降雪量は気象庁アメダス観測点での観測値

長野県危機管理部



観測点位置

